

カラノ一片ノ指令ガ此工場ヲ動カシタ（今度ノ爭議ノ根本ニナツタ事ハ第一便デ申上マシタ通り）是レガ若シ國家有事ノ時デアツタトシタラ其結果ハ何トナルデシヨウカ、此空氣ガ此會社カラ無クナラナイ以上此會社存立ノ要ハナクナリマス、私共千人ノ就業員ガ毎日働ク其ノ目的ハ無クナリマス、私共ハ大ナ國家トカ云フ問題ヲ考ヘズトモ先ヅ差當リ私共ガ働ク、家族ヲ支ヘル、此大ナル目的カラ考ヘテモ此不安ノ空氣ガアル以上ドウシテモ考ヘナケレバナラヌ点デアリマス

次ノ問題ハ爭議ナルモノデアリマスガ凡テ世ノ中ハ人ガスルノデ從テ思ヒ過クモアリマス手落モアリマス普通ノ爭議ハ此不服ヲ訴ヘル手段デアリマスカラ爭議ハ全然不正ノモノデアルトハ思ヒマセン、然シ爭議ガアツタ其結果ヲ考ヘマスト先ヅ何ヨリ困ルノハ家族ト會社、大キクナルト社會ハ非常ニ迷惑スル事ニナル、依テ爭議ヲ起ス者トシテハ其責任非常ニ大ナルヲ覺悟セネバナラヌ、之ヲ考フルト爭議ハ減多ニヤルベキモノデナイ又ヤラレ得ルモノデナイノデアリマス、ツマリ余程問題ガ大デナイ以上爭議ハ起スベカラザルモノデ問題ガ小クテ爭議ヲ起スノハ罪惡デアルノデアリマス、今度ノ爭議ノ如ク問題ハ極テ小サクシカモ其理由極テ薄弱勞働爭議史上ニ大汚點ヲ殘シタ事ニナルノデアリマス、社會トシテモ此爭議ニ對シ充分ノ制裁ヲ加フル必要ガアリマス、畢竟爭議ヲ起サセンガ爲ノ爭議トシカ見ラレマセン、シカモ其争ノ眞ノ目的ガ要求條件ナドデハナク眞ニ懼ルベキ事ヲタクランデ居ルト云フニ至ツテハ實ニ由々シイ問題デアリマス、此空氣ガ此會社ニアル以上私共就業員一般ハ常ニ安ンジテ其業務ニ服スル事ハ出來マセン、社會ノ一部ニコウ云フ不安定ガアル事ハ社會トシテ甚ダ迷惑至極デアリマス、私共此惡風ヲ何トカシテ一掃スル義務ガアリハセヌカ、直接關係スル又直接影響ヲ受ケラル、御家族御一同ノ御批判ヲ願ヒ度イノデアリマス。

昭和三年三月十一日

日本光學工業株式會社